



# 中央聖書神学校 Central Bible College

## CBC後援会だより vol.19

### 神学生支援のために

CBC後援会会長 酒井 勝  
(東京アーバンチャーチ)



CBC後援会総会(2月25日)に会員の皆様の出席及び委任状により、総会は滞りなく全案件を終えることができました。ご協力感謝申し上げます。

私は前任者の酒井源次会長の後を引き継ぐことになりました。過去3年間はコロナ禍の制限により、直接参加する活動が殆どできませんでした。今年度は制限が緩やかになり、対面での活動を復活させたいと願っています。

今年度は2人の本科生、23名の通信生(2人の編入生を含む)が入学されました。オンラインで出席の新生には、お子さんと一緒に映るお母さん神学生と小さい頃を知る子が立派な神学生になった姿に大変感動させられました。後援会の大き

な働きは、神学校生活を経済的に支えることにあります。今年度は、更なる会員増を目指して各教会、オンライン出席が可能なようになった役員会に、地方からの新役員が加えられるよう願っています。また、神学校々々環境整備活動参加にもご協力願います。



CBC後援会総会

### 新体制メンバーの紹介

副会長 岩本章子姉(武蔵野基督教会)  
約十年前、後援会が教職の手から信徒の手に委譲されたのを機に、後援会に係わっています。あと一期!



会計 佐々木功兄(めぐみ福音リスト教会)  
新会長さんと共に後援会の発展に協力していく所存ですのでよろしくお願ひ申し上げます。



書記 富山 均兄(千条キリスト教会)  
全国の信徒さんが「後援会に入って神学校のために何かしたい」と願えるように、後援会への理解が深まるように努めてまいります。



書記 横須賀直人兄(中央聖書教会)  
後援会スタッフは和めるメンバーばかりですので、どなたでも楽しめる奉仕の場です。お待ちしております。



監事 野村行雄兄(めぐみ福音リスト教会)  
今まで頑張ってきた先輩から、バトンを引き継いで監事を受けました。また次の世代の方へバトンを渡すために頑張ります。



監事 柳谷良子姉(神召キリスト教会)  
ハレルヤ!神召教会で19歳で救われてから46年が経ちました。先輩のご指導のもと、頑張ります。よろしくお願ひいたします。



お祈りとご支援を感謝します

本科基礎課程 一年生の献身の証と抱負



古澤 あかり

ハレルヤ！ 主の御名をあがめます。この春、CBCに入学した、本科一年の古澤と申します。

明治初期、厳寒に耐えながら、北海道を開拓していった屯田兵たち。その血と涙と汗が滲む北の大地で、奇しくもその末裔であった私は学生時代を過ごしましたが、主の恵みの深さに気づくことはできませんでした。就職で関西に導かれ、仕事の挫折を味った時、初めて自分には神様が必要なのだと痛感させられました。長い間、私を呼んでおられる主に、自分の人生のすべてを捧げようと決断するまでに、多くの先生方や兄弟姉妹の忍耐と篤い祈りが捧げられました。心より感謝いたします。

「収穫は多いが、働き人が少ない。だから、収穫の主に願って、その収穫のために働き人を送り出すようにしてもらいなさい。」(マタイ9章37-38節) 学生時代以来、久しぶりの寮生活。まだ青かった自分が思い起こされ悔い改めながらも、今まで主

がなされた一つ一つに意味があったのだと噛みしめながら、勉学に励んでおります。

来るべきリバイバルに備え、主の召しに応え、その使命を全うする働き人がさらに必要です。御言葉の鋤を手に取り、よく祈り、よく愛し、よく学び、よく仕えることを通して、これから起こされていく新しい働き人のために、道を切り拓いていけるような神学校生活を送りたいと願っています。ハレルヤ！



西澤 克海

主の御名を賛美します。いつも神学生のために祈りいただきありがとうございます。

今年度、本科基礎課程に入学しました。西澤克海(にしざわ かつみ)と申します。

私は両親共にクリスチャンではない家庭に産まれましたが、母教会であるサンライズのぞみ教会付属幼稚園を通して救われました。私が献身を決意したきっかけは、

神様に触れられ変えられる経験をしたためです。私にとってコロナウイルスは大きな転機となりました。コロナ禍の前は趣味などを教

会より優先していた生活から、コロナ禍により強制的に神様を第一とする生活へと神様によって変えられていきました。その中で、沢山の聖霊の働きを体験し、神様に考え方や想いなどすべてが変えられていきました。そして献身ということを考えるようになっていきました。「人の前に出るのが苦手」という性格もあり献身することへの抵抗感もありましたが、召命の御言葉であるエレミヤ書1章7-8節を通して神様は、「何も恐れず、すべてを委ねて私についてきなさい。」と語りかけてくださいます。この御言葉を受け取り不安や心配もすべて神様に委ねて献身することを決心しました。

あまり言語など勉強は得意ではありませんが、神様が導く所で最善の働きができるように全力で勉学に励んでいきます。

これからも、CBCの神学生の学びと訓練のためにお祈りいただければ幸いです。よろしくお祈ります。

総会報告、茶話会報告

2023年2月25日(土)、通常総会が神学校のチャペルで行われました。コロナが落ち着き、会場出席者22名を得て、第1号議案から7号議案までが熱心に審議され、全件満場一致で可決されました。また、全国各地から議決権行使ハガキが130枚余り届き、会員皆さんの意識の高さを感じることができました。総会後、4年ぶりに茶話会(懇談会)が開催されました。三宅校長よりご挨拶をいただき、出席者全員の自己紹介と意気込みを分かち合い、懇親を深めました。





# 一族の救い(上)

結城キリスト教会 柏 勝

栃木県日光から長野県上田に至る風光明媚な高原地帯を日本ロマチック街道が貫く。

その半ば、群馬県高山村の街道沿いにひっそりと佇む教会で五十名程の集会が行われた。名久多(なくた)教会献堂百周年記念集會、一九八七年のことである。また二〇〇五年には有馬俊平受洗百二十周年記念集會が百余名によって行われ、神の恵みを大いに賛美、感謝した。集った信徒は日基、ホーリネス、アツセンブリー、カペナント、ブレザレン等、様々な教派で、殆どが俊平の子孫である。

一八八四年この寒村を訪れた伝道師の福音に深い感銘を受けた有馬俊平は翌年、星野光多師から洗礼を受けた。翌月は俊平の妻かつ

が、その翌年には長男嘉一が海老名弾正師から洗礼を受けた。明治中期の貧しい山村に福音の種が蒔かれ、二年の間に二二名の受洗者



名久多教会

が誕生し、多くの実を結ぶ事は神の御計画であったと思わざるを得ない。

俊平は自宅を説教所に開放し親族、村人に「伝道にも熱烈にして基督教の教理を説き」信者が増していった。信者たちは会堂建築のため熱心に祈り、献げ、一八八七年名久多教会が落成した。村で洗礼者が誕生してから僅か二年のことである。記録では翌八八年には教会員五八名を数えた。俊平は初代高山村長として村の政治・経済に指導的役割を果たしたが、何よりこの時代にあつて先祖伝来の禪宗からキリストに改宗し、未知の地を神に従うアブラハムのごとく一族を導き、貫いた信仰を与えて下さった神に感謝するのである。

長男有馬喜一は新島襄を慕い、同志社に学んだ。当時東海道線が未開通で、横浜から船で四日市に渡り近江を経て京都に入ったとの事、さながら留学である。帰郷後「農業とキリスト教に精進し、益々篤き信仰を以て神に奉仕し家族共々教会に出席し、感謝と祈禱

を以て「過」した。この遊学は山村の教会にとつて正しい聖書解釈の一助となった事であろう。俊平の七人の子は皆信者となつた。嘉一の妻ソデは激しい農作業、一三人の子育ての傍ら、有馬家を訪れる人々に熱心に伝道した。こうして嘉一・ソデの全ての子(俊平から三代目)が救われた。ソデは年老いて日々、子・孫・近隣の人々の



★筆者

記念会 2005

ため祈り、「イエス様を見つめて信じて永遠の命をいただいで下さい。私の血肉の繋がりのある者は一人残らず信じて下さるよう神様にお祈りして居ります」との遺言を残している。神はこの祈りを聞いて下さった。

三・四代目の多くが信者となり、配偶者を得、全国に居を移していった。茨城県結城にも子孫が移り住んだ。(続く)

◎ 柏兄は有馬俊平氏から数えて5代目。一族からはAG教職も輩出しています。後編をお楽しみに。

一つに食し 一つに生く

## CBC アーカイブス



『漁人』1953年より

**CBC**  
校内環境  
整備DAY

# 奉仕で神学校を 支援いたしましょう！

どなたでも参加可能です。神学生と一緒に汗を流しましょう！お待ちしております。



**6.24 土**  
**9:50~12:00**  
(集合)



校庭清掃、植栽剪定など。(雨天決行/校舎内清掃)

●後援会が弁当と軍手を用意いたします。●感染症・熱中症対策をしてご参加ください。



●自教会の牧師にご報告の上、下記メールアドレス、  
またはFAXにて**6/17(土)**までにお申し込みください。

mail:kouenkai@cbc-j.ac.jp

FAX:03-3918-4064



## 2023年度 会員数・会費納入状況 (1月~4月)

| 区分   | 年間計画 |           | 実績  |           | 計画対比 |            |      |
|------|------|-----------|-----|-----------|------|------------|------|
|      | 会員数  | 会費(円)     | 会員数 | 会費(円)     | 会員数  | 会費(円)      | 会費進捗 |
| 法人会員 | 7    | 300,000   | 3   | 140,000   | -4   | -160,000   | 47%  |
| 教会会員 | 55   | 1,200,000 | 17  | 329,000   | -38  | -871,000   | 27%  |
| 個人会員 | 300  | 2,700,000 | 116 | 1,020,000 | -184 | -1,680,000 | 38%  |
| 賛助会員 | 50   | 100,000   | 14  | 34,000    | -36  | -66,000    | 34%  |
| 合計   | 412  | 4,300,000 | 150 | 1,523,000 | -262 | -2,777,000 | 35%  |

これからもお祈りとご支援をよろしくお願いいたします  
献身者が経済的な憂いがないように支援の輪に加わりましょう

「後援会だより」や郵便局の払込取扱票が必要でしたら、  
ご遠慮なく左記にお問い合わせください。

発行日 2023年6月1日  
印刷所 ベーテラフォト印刷(株)  
編集 後援会委員会  
E-mail kouenkai@cbc-j.ac.jp  
Fax 03-3918-4064  
Tel 03-3918-4925  
所在地 東京都豊島区駒込3-15-20  
〒170-0003  
中央聖書神学校後援会



現在の食堂風景

●70年前の食堂写真を見て「同じ釜の飯を食う」の言葉が浮かんだ。学びと訓練に追われる日々の中で、皆がホットするひと時、楽しい交わりの食卓だ。計画によると神学校に普通に存在した食堂が無くなるという。朝昼夜の3食、自炊・外食・コンビニ等を利用、と学生生活が変化する。経済的な面で食事を抜いたり、栄養バランスを欠いた食事で健康が損なわれないよう、祈りと支援が必要だ。彼ら自身が見付けることを祈る。富山均